

## ご挨拶

### 第4回臨床ラクトフェリンシンポジウム 大会長 北村 政昭

皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

第4回臨床ラクトフェリンシンポジウムを平成26年3月9日（日）に前回同様、昭和大学にて開催いたします。多数の先生方のご参加をいただきたく、謹んでお願い申し上げます。

去る12月10日のNHKの情報番組「あさイチ」にてノロウイルス対策の特集が放送されました。ノロウイルスといえば、嘔吐や下痢を伴う急性胃腸炎を引き起こす非常に感染力の強いウイルスで、カキなど貝類による食中毒の原因の他に、感染者の嘔吐物などを介して経口感染するといわれています。番組では久我山幼稚園のノロウイルス対策を特集していました。通常の食事前の手洗い対策の他にノロウイルス対策として週3回、食後にヨーグルトを食べることを習慣にしているとのことでした。解説は東京医科大学の松林純先生が担当され、「ヨーグルトに含まれているラクトフェリンの効能である」と視聴者にわかりやすく説明されていました。また他に、ゴーダチーズ100gには100mg以上、カマンベールチーズ100gには60mg以上等、ラクトフェリンが多く含まれている食品の紹介もありました。このようにラクトフェリンの認知度が日々増していることを改めて認識させられました。

さて、第4回臨床ラクトフェリンシンポジウムの企画であります。前回同様、午前の部に特別講演を2題お願いいたしました。1題目は鳥取大学農学部の竹内 崇教授による「最近のラクトフェリンの研究と今後の展望」、2題目は東海大学医学部の金子明寛教授による「周術期口腔機能管理とラクトフェリン」であります。たいへん興味深いお話が伺えるものと期待しております。

その後、懇親会を兼ねましたパワーランチのあと、午後の部としてラクトフェリンを応用した軟膏や溶解水の製法や実施例の紹介、ラクトフェリン臨床応用例に関するデータベース構築の一端を披露させていただき、いろいろご感想やご意見を賜りたいと思います。

最後に前回好評でありました、自由討論会を再度企画いたしました。今回の自由討論会は「ラクトフェリンのこれから」というテーマで過去三回のシンポジウムで基調講演ならびに特別講演をお願いしました講師の先生方（原田悦守、坪田昭人、島崎敬一、大槻克文、高山喜晴、木元博史各先生）にもオブザーバー兼コメンテーターとしてご参加いただけることになっております。皆様の日頃のラクトフェリンに関する疑問やご意見等、活発な話し合いができ、是非とも盛会になればと準備委員ともども願っております。どうか多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

追記)

平成26年11月8日（土）には日本ラクトフェリン学会第6回学術集会在「エポカルつくば」にて高山喜晴先生のお世話で開催予定、また平成27年には第12回国際ラクトフェリン会議が日本の名古屋で開催されることが決まりました。併せてご予約に入れていただければ幸いです。